

安全に使おう！ケータイ・スマホ(SNS編)



現在、世の中にはスマホ等で使える便利なアプリがあふれていますが、その中でもLINE(ライン)は、アプリをダウンロードしている人同士であれば無料(※データ送受信にかかる通信料は発生します)で通話・メールをすることができるため、日本国内では5,800万人以上が登録しています。

安全に利用すれば大変便利なアプリですが、他のアプリ同様、不用意な使い方をすることで、トラブルを引き起こす可能性もあります。

今回は、いくつかの事例をもとに、LINEの安全な利用方法について考えてみましょう！

事例

①

既読スルーが いじめの原因に！

LINEの機能の一つに、メッセージが相手に読まれたかどうかを示す「既読」表示機能があります。

便利な機能ですが、メッセージを送った側は、返信が返ってこない、無視されたと思い込み、いじめにつながってしまうこともあります。



これで安心！

- ①お互いのことを考えて、「〇時以降はやり取りしない」などの**約束事を決めましょう。**
- ②相手の事情を考えるなど、**思いやりの気持ちをもちましょう。**



事例

②

顔写真や他人に 知られたくないことを 送信された！

LINEに送信した画像や情報が、他人にコピーされ、インターネット上に流出すれば、世界中の人があなたの個人情報を見ることとなります。

また、インターネット上に、安易に自分の個人情報を掲載するケースもあり、個人が特定されることでトラブルに発展する場合があります。

これで安心！



- ①**個人が特定できる情報は送らないように**しましょう。
- ②**自分がされて嫌なことは相手にもしないように**しましょう。

個人情報になるもの

氏名、顔写真、学校・クラス、部活動名、住所、メールアドレス、LINEのID、メールアドレスや顔写真をのせているブログやSNSの情報など、単独または複数の情報から個人を特定できるもの。

事例
③

LINEで
知らない人とつながり、
会った結果・・・

LINEでは、「友だち」になる方法として、電話帳の利用以外に、任意に設定できる「ID」という情報を検索する方法などがあります。インターネット上には、「ID」を掲載した掲示板等もあり、悪意をもった人が利用し、その人と直接会うことでトラブルに巻き込まれるケースもあります。



これで安心！

- ①「ブロック」機能を使用することで、知らない人からのトークを受け取れないようにできます。
- ②知らない人に「ID」を教えないようにしましょう。
- ③知らない人から連絡があっても、絶対に会わないようにしましょう。

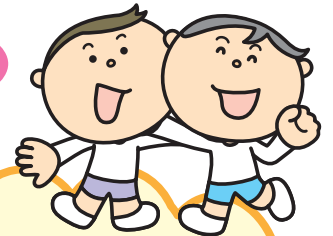


事例
④

グループトークから
退会させられ、
仲間はずれにされた！

LINEでは、任意に「グループ」を作成することができますが、グループから強制的に退会させられたり、特定の人をはずして別のグループを作ったりするなど、いじめにつながる行為も見受けられます。

これで安心！



- ①相手のことを考え、お互いを尊重してコミュニケーションをとりましょう。
- ②自分がされて嫌なことは相手にもしないようにしましょう。



LINEを例にして、トラブルに巻き込まれず安全に使う方法を考えてきましたが、他のアプリ等でも同じことが言えます。自分の思いや考えをきちんと伝えたいときは、情報機器に頼らず、直接会って伝えましょう。また、何かあったら一人で悩まず、友だちや大人に相談しましょう！

困った時の相談窓口

ネットを利用した犯罪や、架空・不当請求の被害を受けたら

- 高知県立消費生活センター 088-824-0999
- 高知県警サイバー犯罪相談窓口 088-875-3110
- 少年サポートセンター 088-825-0110
- 各所轄の警察署 ()

ネットいじめに悩んだら

- 高知県心の教育センター (24時間相談電話) 05700-78310

個人情報や書き込みで悩んだら

- 高知県教育委員会事務局人権教育課 088-821-4932